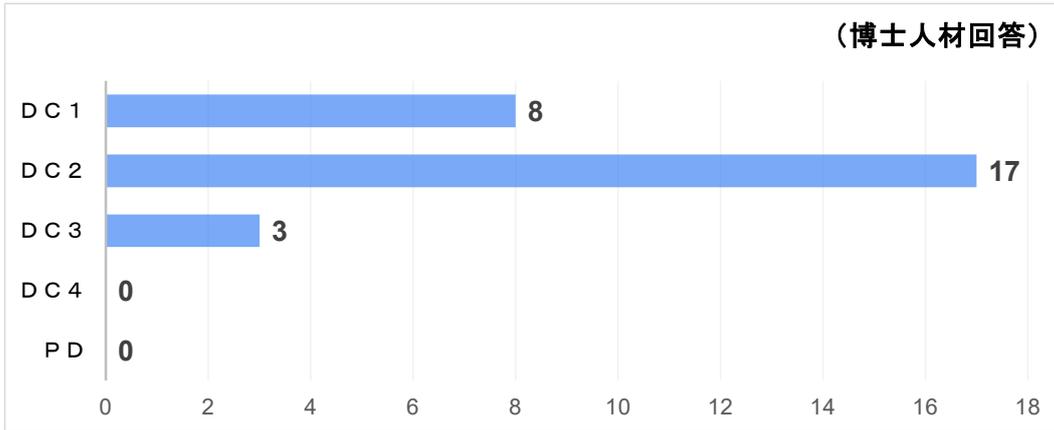


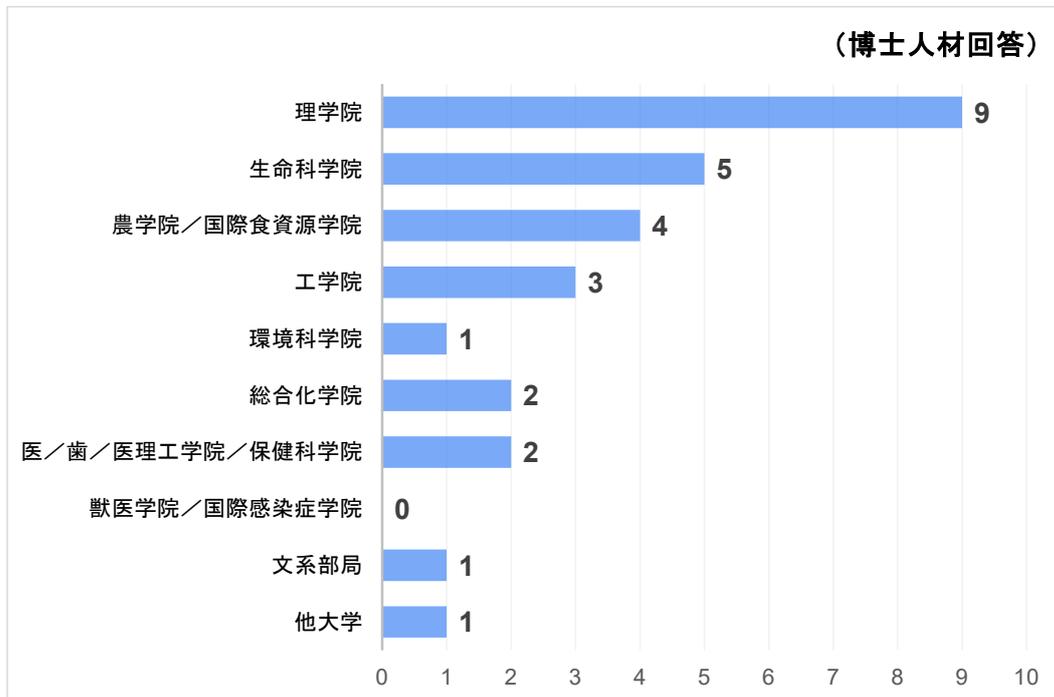
# 第45回（R2第3回）赤い糸会 アンケート（博士人材・企業）

[1] 回答者数:博士人材28名・企業19名(参加数:博士人材28名・企業21社)

学年(博士人材)

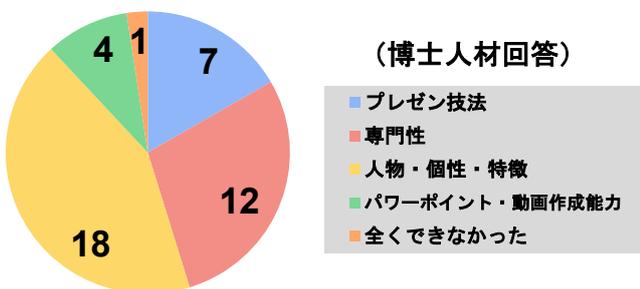


所属(博士人材)

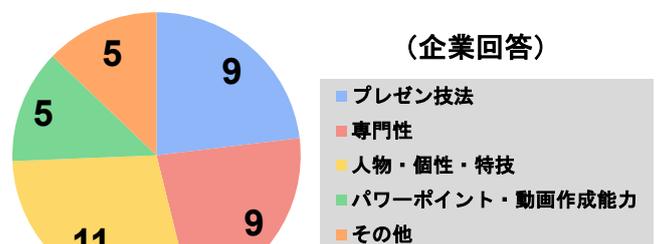


## [2] プレゼンテーション動画について

【アピールできた点(博士人材)】



【注目する点(企業)】

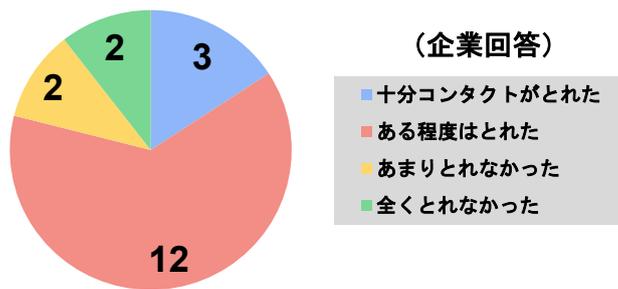
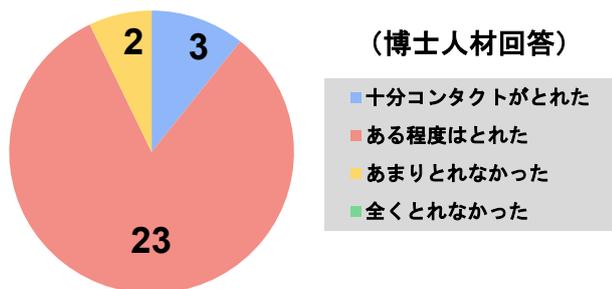


欄外コメント

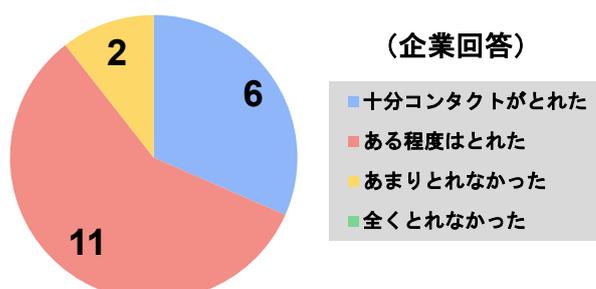
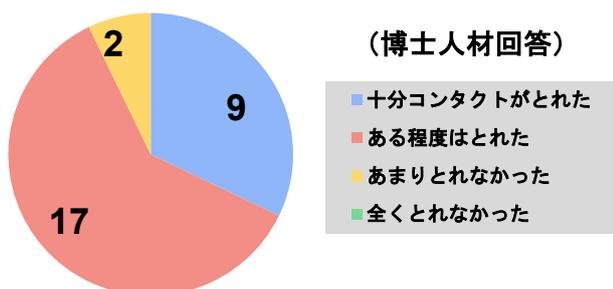
専門性をわかりやすく説明できているか  
自分の将来の展望について語れるか否か  
...など

### [3] 企業/博士人材とコンタクトがとれましたか

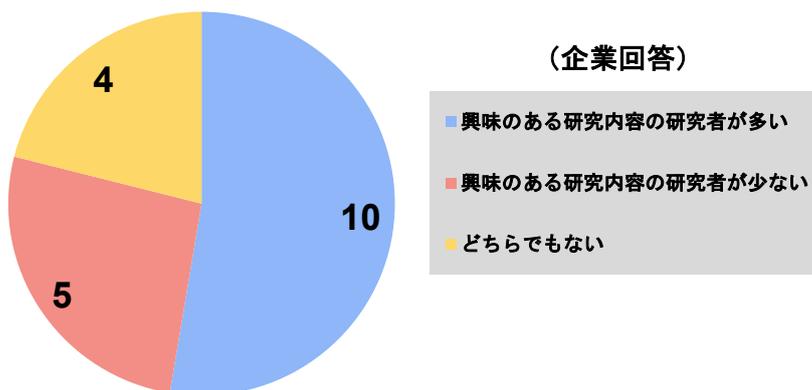
【動画等視聴・チャット／赤い系ONLINE専用サイト】



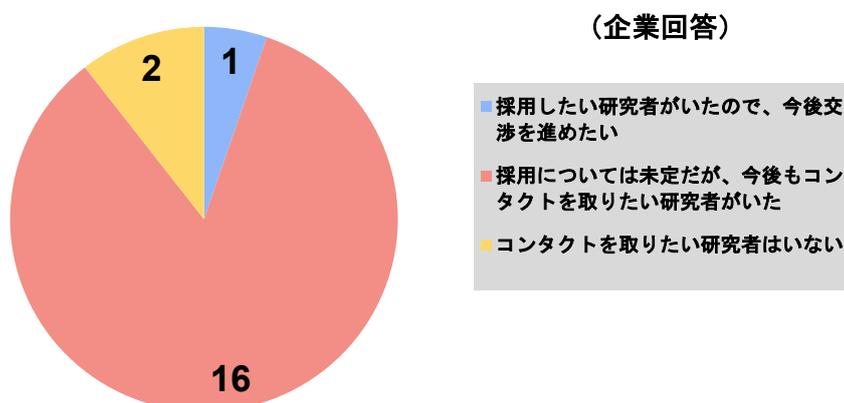
【個別交流会／zoom】



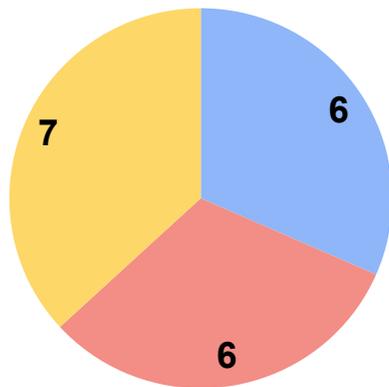
### [4] 興味のある博士人材はいましたか(企業のみ)



### [5] 参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください(企業のみ)



[6] インターンシップについて(企業のみ)



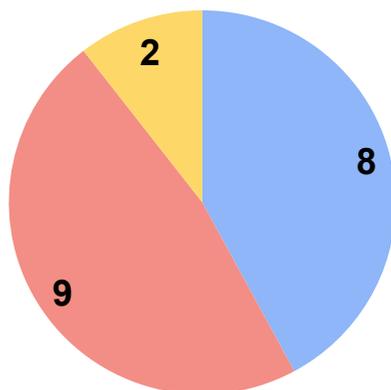
(企業回答)

- 受け入れを表明している
- 受け入れてもよい
- 受け入れは難しい

受け入れを表明している企業

株式会社東芝                      三桜工業株式会社  
 京セラ株式会社                  株式会社Ridge-i  
 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社

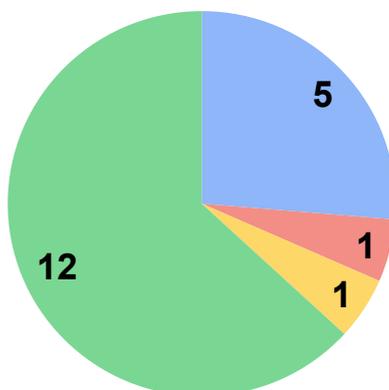
[7] PD・DC採用について(企業のみ)



(企業回答)

- 定期的に採用したい
- 時期に関わらず、採用したい
- 採用については未定

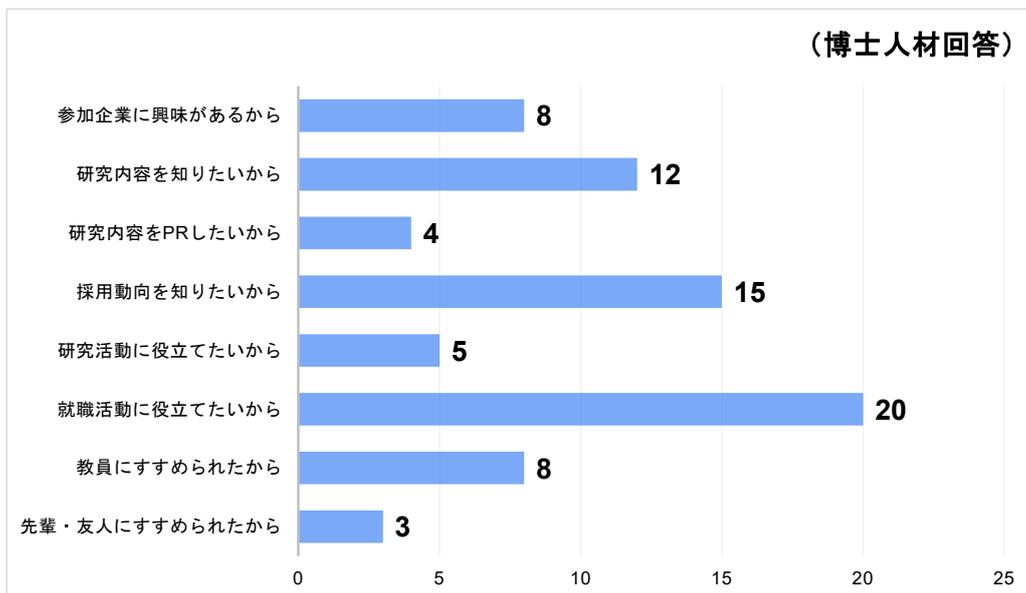
[8] Hi-System(博士人材と企業の双方向ネットワーク)はどのように利用していますか?(企業のみ)



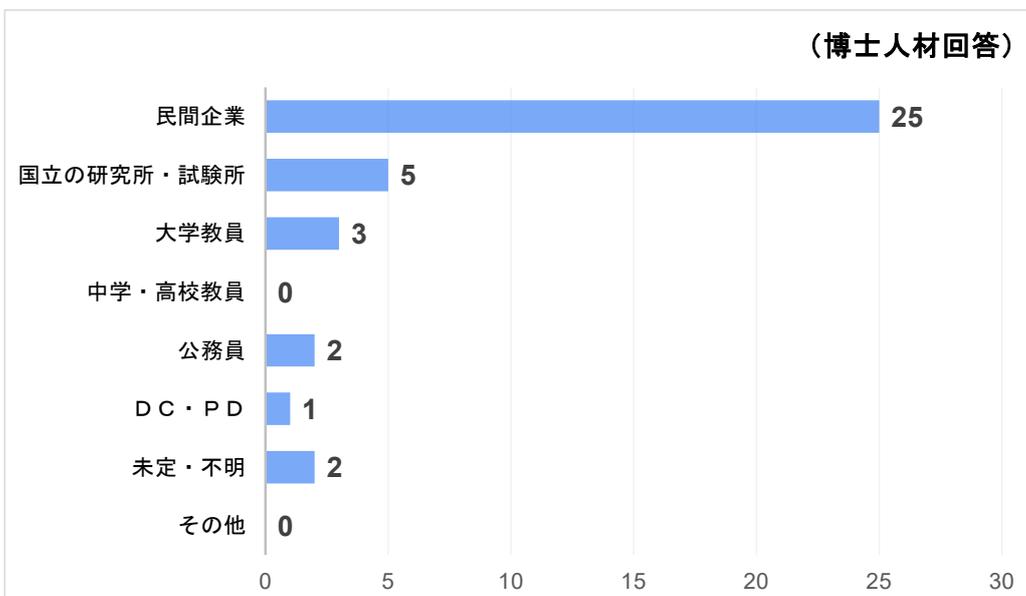
(企業回答)

- イベント参加
- コミュニティ
- 研究者検索
- 利用していない
- その他(具体的に)

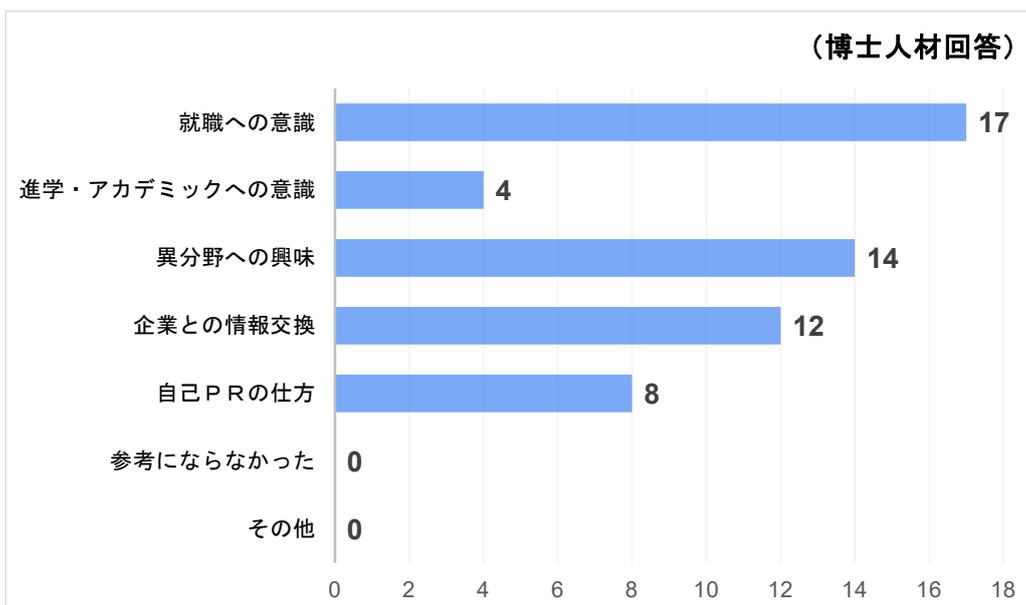
[9] 「赤い糸会」への参加理由(複数回答可)(博士人材のみ)



[10] あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)(博士人材のみ)



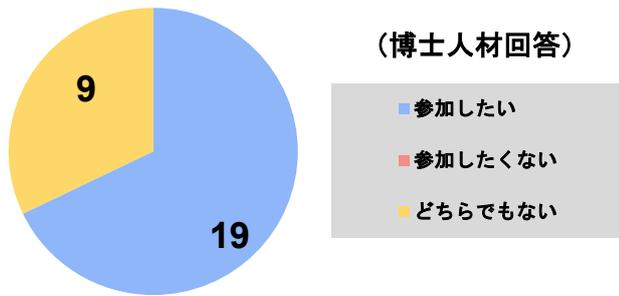
[11] 赤い糸会はどの点が参考になりましたか？(複数回答可)(博士人材のみ)



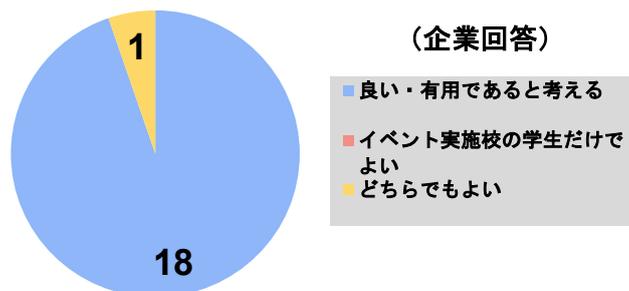
[12] 「赤い糸会」へ参加して新たな気づきはありましたか。(博士人材のみ)  
(博士人材)

1	博士課程で身に着けるべき課題設定と問題解決能力が、思っていた以上に企業に求められていること
2	動画や資料の作成で自分を見直すことができ、将来やりたいことの方向性が見えたこと
3	自分への興味をもっと惹きつけるプレゼンが必要
4	専門的な研究の説明と一般向けの研究の説明どちらにも需要があること
5	社会に出ると当たり前なことなのかもしれませんが、執行部の考え方やバックグラウンドが、その企業の事業編成に大きな影響を与えていることを深く理解しました。
6	専門分野にこだわらず博士人材を採用したいと考えている企業がいくつかあること
7	企業が面白い研究もやっていて、お金も良いです。
8	就職に向けた情報収集ができた
9	博士採用は研究分野のマッチングができるかが一番重要だということ。
19	企業の方とのコミュニケーションを通して、こちらの意図を組んで対話をしてくださる方と、話したいことを話す方がいることが分かった。企業との面接を行う際は前者に見えるように心がけようと思った。
10	博士の採用時期に関しては不定の企業も多くあり、そういった企業は個人的な接触がマッチングに大きく寄与する傾向がより強いのではないかと思った
11	みんな頭よさそうに見える。
12	異分野で思ってもみなかったことをやっている企業がいる。企業名からは分からない。
13	分野の異なる企業に対しても十分活躍できる可能性を感じた一方で求められていない場合もあると知った。企業とのコミュニケーションをとってミスマッチがないようにすることが重要であると感じた
14	理系専攻の博士課程の学生と企業の方がお話ししているのを伺い、とても楽しそうに技術的なお話をされていて、技術的な奥深さと開発における様々な分野の関わりや分野間の知識共有の難しさを感じました。
15	プレゼンの伝えるべき情報やそれらのまとめ方を考える機会になりました。また話し方を意識するきっかけにもなりました。
16	博士に求める研究者像など
17	多様な採用過程
18	企業側に博士人材を採用しようという意思があるということ、学生側にも様々な意識で取り組んでいる人がいるということ。
20	かなり顔、名前を覚えていただけるとわかった。
21	博士の専門性を重視する企業も、そうでない企業も、広い視野でもって柔軟に学習し周りと協力しながら仕事することが大事とおっしゃっていた。これは当然のことではあるかもしれないが、入社後に意識して実践したいと思った。
22	現在DC1ですが、DC2でマッチングするためには行きたい企業をちゃんと決めておかないといけないことが分かった。また、インターンシップなど参加するためには今から動かないと遅い気がします。
23	電気・素材系のメーカーでも生物系研究者の活躍の場はありそうということ
24	企業の方は、博士採用の専門性のマッチングは想像以上重視している
25	博士号取得後すぐさま就職するのとポスドクを数年経験してから就職することにあまり違いはなさそうということ
26	初めての参加以降新たな気づきはありませんでした。
27	研究の中に、好きなことや努力の跡が見えるようにするべきだと思った。これから研究の仕方を考えるきっかけになった。
28	自己理解の重要性、準備の重要性を更に重く感じた

**[13] コンソーシアム(全9大学)の取り組みについて**  
 連携校マッチングイベントに参加可能なことについて(博士人材)



連携大学の学生が参加していることについて(企業)



**欄外コメント**

連携により、全国各地の博士学生の方と触れ合えるのは、とてもうれしいです。各種イベントに関しては対面での実施にも期待する一方、せっかくここまでオンラインが普及した今、全国の大学を一斉に集めた形式での開催があっても良いのではと感じました。 …など

**[14] 今後博士人材へ期待すること・要望など(企業のみ)**  
 (企業)

1	1回目、2回目に比べると、「専門以外の知識を入社後に身につけられるか？」という質問が増え、参加者の皆さまの視野が広がっていることに驚きました。一方で、ブースにいらしても一言も話されない方もいらっしゃいました。交流会は選考の場ではないという認識で参加しておりますので、遠慮なくなんでも聞いていただければと思います。
2	研究以外に博士課程の学生としてやってきていることなどについても、是非目を向けて、自分ができることや経験してきたことについて考えてみてもらえると良いと思います。また、赤い糸会を活かし、いろんな企業の方と話をし、「いろんな人とコミュニケーションをとる」ということも経験してもらえたらいいなと思います。
3	博士には何らかの分野の専門家だという期待があります。今回の学生さんの動画ではどちらかという自我介绍や人物像のアピールに重点を置いている方も多かった印象です。そこも重要ですが、自分の研究の何が凄いか、どういう思想で研究をしているのかというところをもっと伝えて欲しいと感じました。
4	専門以外の分野に興味を持ってもらいたい
5	教育業界にも目を向けていただきたい
6	専門性の向上
7	当社で行っている業務からすると、博士課程の学生が行っていたものがぴったりマッチすることはないと思います。問題解決までの論理的な思考ができると思いますので、当社の仕事に興味を持っていただければ。
8	ご自身の専門性の高さだけでなく、未知の領域へチャレンジする力や視野を広く持って新しいことを創造する力を求めています。
9	研究内容に対する熱意とともに、研究の重要性、面白さを表現していただけたら、その方の研究に対する気持ちをもっと感じ取ることができるのかなと思いました。
10	今後たくさんの学生様と交流させて頂き、貴重な意見交換ができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
11	将来の可能性を制限せずに広げて考えてほしいです。
12	自分の専門性と異なった分野で活躍するイメージを持った方が良いと感じる。そのイメージを持つための会でもあるのでどんどん活用してほしい。
13	日頃企業との接点が少ないと思いますので、見識や学生さん自身の可能性を広げる意味で"就職活動"だけでない形でもコミュニケーションがあれば良いと思いました。また会の冒頭に吉原さんが仰っておられましたように、過去の業績等を起点に考えている学生さんが多いようですが、企業側としてはそれを活かして"今後何をしたいか"あるいは"今後したいことのために今何をしているか"を話して貰えるとお互い将来の話がしやすいのではと思います。
14	自身の専門分野にとらわれず、基礎技能を他分野に応用する意欲を持ってもらいたい
15	就職に関してですが、ご自身の専攻以外にも少しでも興味がある分野には、どんどん目を向けていただければと思います。
16	必要に応じて他のスキルを素早く習得できる力や、やりたい事業や作りたいプロダクトのアイデアを持っている方には、ぜひ積極的にアピールいただきたいです。研究分野と弊社の事業内容の間に直接接点がない場合であっても、上記のようなスキルを持っている方は積極的に採用したいと考えています。
17	・自身の深い専門性を、近隣他分野はもちろん、社会、歴史といった様々な文脈と結び付ける教養と概念思考能力
18	弊社は印刷会社ということもあり、名前だけでご自身の研究や希望分野ではないと判断されることが多々ありますので、興味のない企業にも飛び込んでほしいと感じます。
19	毎年若干名の博士を採用しております。優秀な博士の方のご応募をお待ちしております。

## [15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など

### (博士人材)

1	想像以上にやることが多く、得るものが多かったが研究時間をある程度犠牲にする覚悟も必要だと思った。ディスカッション当日は、自分が聞きたい話だけでなく、他の学生の視点も知ることができたので得られる情報が多くて満足した。
2	一部の企業は、Zoomでの交流の20分間ずっと話し続けて、意見交換をする時間を設けてくれないものがあった。企業側と学生との交流を目的とした「赤い糸会」の意図を理解していないのではないかな。
3	裏選考ルートの確立を期待しています
4	進行がスムーズでよかった
5	複数回の参加を通して、徐々に企業の方への質問のポイントを押さえられてきた気がします。累計36社（個別面談を入れたら+a）の様々な分野の企業とお話できたおかげで、やっと全体像がつかめてきました。早いうちから参加のチャンスを頂き誠にありがとうございました。
6	セッション1-4の時間帯に面談する企業をメールで通知していたが、そのメールにzoomのIDとパスワードも書いておいていただけると、当日様々なウィンドウを開かなくて良いので便利になると思います。
7	私は赤い糸会に参加してから民間企業に就職したくなりましたので、とても参考になりました。
8	赤い糸ONLINEの専用サイトをもっと長期間で利用したい。
9	日本入試センターの様な企業は今の赤い糸会の仕組みに合っているが、研究分野のマッチング重視の企業は初めからある程度の候補を示すか、別の仕組みがあった方が良い。
10	企業ごとにPR動画の完成度が全く違うので、「赤い糸会にどんな人材を求めているのか」見えにくい企業があった(そういった企業はあえてそうしていると思うが)。書式が揃っている簡易アンケートなど(未回答可)があると、企業側の真剣さの違いがよりよく見えると思った。
11	一般的な採用時期についての情報がもう少しあれば良いかと思う
12	動画の倍速機能があると、より短時間で視聴できると思いました。収入面は少し聞きにくいのですが、健康的でやりがいのある生活を営むために、初任給や平均年収、勤務地の凡その家賃等生活をするにあたってのモデルケールを開示して欲しいです。
13	phase3で使うZOOMもURLをもう少し分かりやすいところに載せてほしい。どこに記載があったのか分からなくなって焦りました。
14	かなりスムーズにイベントが進行することができていると感じた。
15	今回は実験等の予定により参加が途中からとなってしまい申し訳ありません。丁寧にご対応いただきありがとうございました。
16	phase1と2の間のやり取り不可期間が分かりにくく、企業側、学生側両方でのやり取りが滞ってる印象を受けました。
17	チャットの後に訪問したい企業を選ぶことができよかったと思います。
18	何からすればいいか分からない時にしたらいいことに対して考えられるようになって良い機会でした。ありがとうございます。
19	参加される企業のかたの所属および名前をあらかじめ知っておきたかった。(Zoomの表示で企業名が長い場合に続く名前が見えなくて少し困ったのと、どういう部署の話が聞けそうかあらかじめ検討を付けておくのに参考になりそうであるため。)
20	企業の方から赤い糸会ONLINEの進行の仕方がよく分からず...とのお言葉を伺ったため、企業側へのスケジュール、進行の雰囲気もお伝えできればと思います。
21	貴重な機会を用意して頂き誠にありがとうございました。様々な業界の方とお話できたことは非常によい経験でした。
22	開催時期が遅いのではないかなと思う。
23	特になし
24	このような企業の担当者達と接する機会をご用意していただきまして、誠にありがとうございます。今回の赤い糸を参加することで、DC就職に対する認識を広げました。企業との個別面談の時間につきましては、各セッション20分の時間はちょっといい感じですが、トータル3時間はちょっと長いと思います。毎回2時間ほど短縮できれば大変助かります。
25	zoomのID・パスワードをphase3当日に訪問する企業をお知らせするメールにも書いておいていただけると当日色々なページを見に行かなくて済むので便利になると思います。
26	やはり専用サイトの使いにくさが目立ちました（名前はあげませんが、企業の方もこの点には言及していました）。各Phaseで頻繁にアクセス可能不可能が切り替わる点も非常に混乱しました。
27	システム的なこととして、チャットをしている企業を切り替えるときに、更新をしなければ他の企業のチャット内容が見えないのは直してほしい。
28	チャット関係のバグは早めに直してほしい

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など

(企業)

1	運営もとても丁寧でわかりやすく、スムーズで大変感謝しております。いつもありがとうございます。
2	<p>参加する学生さんの一覧名簿が欲しかったです。          (名前、学年、卒業年月、専攻、研究テーマ、など)          そして、その一覧に動画とポスターのリンクがあるといいなと思いました。          今回の動画のサムネイルが一覧になっているのも、パッと見で学生さん(が作ったサムネイル)の雰囲気が画像で分かっているのですが、これと併せて一覧の名簿があるとより見やすかったなと思いました。</p> <p>事前に確認するフェーズの時のサイトのオープン時間についてですが、スタートは13:00でもいいと思いますが、クローズは17:00までではなく、終日にしていただけるとありがたいです。</p>
3	<p>昨年度までリアルなイベントで何度か参加させていただいており、優秀な人材と出会うキッカケとなっていますので、非常に有用な会と認識しています。今年度も楽しみにしていました。初のオンラインということで、心配もあったのですが、大変有意義な時間を過ごせました。貴重な機会を頂きありがとうございます。オンラインですと、学生さんの動画を見直したり、チャットで連絡を取り合えるなどオンラインならではのメリットもありました。一方で、深く話を聞くには、やはりリアルが良いというのが正直な感想です。企業紹介はオンラインで、学生さんの研究発表と個別交流はリアルで、など併用も良いように感じました。</p>
4	他大学も含めて幅広い博士との出会いがあり大変有用
5	短い時間のため、会社概要だけしか伝えられずもどかしい。
6	PR動画の尺の都合等の事情かと思いますが、博士人材の研究内容を深く理解することが難しかったです。ポスターセッションと違い頻繁にやり取りすることが難しいのは仕方ないですが、専門用語をもっと使った資料などを用意していただけると理解の助けになると感じました。
7	今回、コロナの影響でONLINEとなりましたが、こちらもこのような初めてのことでアタフタしました。準備も含め、ONLINEの方が学生さんが質問しやすいのかなとも思いました。ただ、直接会って話した方がお互い雰囲気が分かるのかもしれませんが。
8	このような貴重な機会をいただきありがとうございます。DC1の学生が参加できる点も、早い段階からさまざまな企業と交流ができ学生にとっても有意義な場であると感じております。
9	少し時間が短かく、質問に対し全部をこたえきれない部分がありましたが、ご興味を持っていただいた方には別途ご連絡差し上げることもできるので、現在の環境下でもありがたかったです。
10	普段かわりを持つことができない学生様と貴重な交流のお時間を頂き、大変ありがたいお時間でした。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
11	毎回学生の準備がしっかりしており、企業側として参加のし甲斐があります。
12	ONLINEは初参加であったので動画作成等の事前準備に時間がかかった。学生と事前にチャットで連絡が取れた点はリアル開催より良かったと感じる。学生の発表内容についてはリアルの方が質問しやすいと感じた。
13	<p>前回以上の数の学生さんに興味を持って頂くことが出来たようで感謝申し上げます。赤い糸会で弊社のことを知ってくださった方も多かったです。ありがとうございました。</p> <p>ONLINEシステムについては特にチャット機能についていくつか改善頂けると有難いと感じる点があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新着順にソート出来るようにして頂けると助かります。</li> <li>・未読マークがつくチャットとつかないチャットがある(?)ようで、未読のつかないチャットを見落とししていました。</li> <li>・ONLINEにログインしたままだと新着のチャットがUpdateされず、見落としが発生しています。</li> <li>・上記のように気が付かないことが多いため、冗長にはなりますがメールでのNotification等あれば助かります。</li> </ul>
14	規模の大きくない弊社に対しても多くの学生が興味を示してくれたため、参加した甲斐があった
15	<p>&lt;サイト&gt;          リアルイベントの時のような、博士学生の方の一覧があると良かったです。また、1人1人のページを見に行かずとも、一覧とポスターがまとめて入っている状態ですとより良かったです。</p> <p>&lt;当日&gt;          ブースに来る博士学生の方が事前にどなたかがわかると、良かったです。これで全員なのかどうか・・・とわからないままスタートするため、事前にわかるとよりうれしいです。</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な分野の研究者の方の研究を知ることができたのと同時に、弊社に関心を持ってもらえる機会となったため、有意義であった。</li> <li>・参加者は生命科学系の研究者の方が多く、弊社の分野と直接接点がある方はそれほど多くなかった。情報科学系の研究者の方の参加も増えると弊社の分野にはよりマッチすると思う。</li> </ul>
17	<p>本来参加予定で無かった社員も飛び入り参加できる余地がある事は、リアルにはないオンライン特有の強みだと感じました。</p> <p>一方、交流会本番前後の期間が短すぎ、チャット対応に大変苦労しました。せめて前後に1日ずつ増やしていただけませんか。弊社特有の事情で恐縮ですが、赤い糸ONLINEでの博士人材とのチャットは、弊社の場合、人事部員はなく、社内の博士人材が本務の合間を縫って行います。今回は私一人ですべて行いましたが、本務の忙しい時期と重なり、おざなりな応答になっていた事を申し訳なく思います。</p>

[15] 全体を通して、「赤い糸会」についての感想など  
(企業)

18	このような機会に参加させていただき大変うれしく思います。本年度も会をきっかけに入社いただくことができました。他のイベントと比較し、人数がそれほど多くなく一人一人の学生さんと向き合うことができるので、引き続き参加させていただきたいと感じております。
19	20分の時間であまり深掘りした質問は出来なかった。やはりポスター発表の場でのリアルなやり取りが重要であると感じた。

[16] J-Window(人材育成本部教員との面談・エントリーシートなどの添削・面接練習)を希望しますか(博士人材のみ)

